

〔 様 式 〕

○ 別記第 1 号様式 気象通報受理簿（兼送信票）（第 3 章第 2 節第 2 関係）

気象通報受理簿（兼送信票）

年 月 日

部 長	課 長	係 長	係	送 信 宛 先	北 広 島 市 消 防 本 部 行	
					FAX 番号 373-6230	
予 警 報 種 別	警 報	大雨・洪水・大雪・暴風・暴風雪			発令日時	
	注意報	大雨・洪水・大雪・()				
火災気象通報	予報期間	実効湿度	最小湿度	最大風速		
		%	%	m/s		
予 警 報 区 域	石狩地方（北部、中部、南部、全域）					
受 信 日 時	月	日	時	分	受 信 方 法	無線電話、無線 FAX
発 信 者	石狩振興局地域政策課			受 信 者	(宿日直者)	

- 注 1 火災気象通報の場合は、消防本部にファクシミリで送信すること。
 2 本書は、危機管理課に提出すること。

○ 別記第2号様式 災害情報報告（第3章第1節第3関係）

災 害 情 報 報 告

(報告第 号)		部 長	班 長	班 員		
報 告 日 時		年 月 日 () 時 分				
報 告 者 の 所 属 ・ 氏 名		対 策 部 班				
情 報 提 供 者		住所 氏名 〆 () -				
情 報 提 供 者 の 所 在						
情 報 提 供 の 方 法		電 話 ・ 訪 問 ・ そ の 他 ()				
災 害 情 報 の 内 容 要	区 分	<input type="checkbox"/> 被害情報 <input type="checkbox"/> 資機材等の要請 <input type="checkbox"/> 支援要請 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	概	発 生 日 時	年 月 日 時 分 (確認)			
		場 所				
		原 因				
		被 害 状 況				
		応 急 措 置				
		対 策 要 求				
		気 象 等 の 状 況				
		そ の 他				
(特記事項)						

注 太枠内は、第三者から情報提供があった場合に記入すること。

○ 別記第3号様式 災害情報（第5章第1節第1関係）

※災害が発生し、又は発生するおそれがある場合は、本様式により速やかに報告すること。

災 害 情 報				
報告日時	月 日 時 分現在	発受信日時	月 日 時 分	
発信機関 (振興局・市町村名等)		受信機関 (振興局・市町村名等)		
発信者 (職・氏名)		受信者 (職・氏名)		
発生場所				
発生日時	月 日 時 分	災害の原因		
気象等の 状況	雨量			
	河川水位			
潮位波高				
風速				
その他				
ライフライン 関係の 状況	道路			
	鉄道			
	電話			
	水道 (飲料水)			
	電気			
その他				
(1) 災害対策本部等 の設置状況	(名 称)			
	(設置日時)	月 日 時 分	設置	
(2) 災害救助法の適 用状況	地区名	被害棟数	罹災世帯	罹災人数
	(救助実施内容)			

応急措置の状況	(3) 避難の状況		地区名	避難場所	人数	日時
		(緊急) 避難指示				
		避難勧告				
		自主避難				
	(4) 自衛隊派遣要請の状況					
	(5) その他措置の状況					
	(6) 応急対策出動人員	(ア) 出動人員		(イ) 主な活動状況		
		市町村職員	名			
		消防職員	名			
		消防団員	名			
その他（住民等）		名				
	計	名				
その他	(今後の見通し等)					

注) 欄に記入しきれない場合は、適宜別葉に記載し報告すること。

○ 別記第4号様式 被害状況報告(速報・中間・最終)(第5章第1節第1関係)

災害発生日時		月 日 時 分		災害の原因		月 日 時現在		
災害発生場所								
発信	機関(市町村)名			受信	機関(市町村)名			
	職・氏名				職・氏名			
	発信日時				受信日時			
項目		件数等	被害金額(千円)	項目		件数等	被害金額(千円)	
①人的被害	死者	人	※個人別の氏名、性別、年齢、原因は、補足資料で報告	⑤土木被害	道工事	河川	箇所	
	行方不明	人				海岸	箇所	
	重症	人				砂防設備	箇所	
	軽症	人				地すべり	箇所	
	計	人				急傾斜地	箇所	
			道路			箇所		
②住家被害	全壊	棟				橋梁	箇所	
		世帯			小計	箇所		
		人			市町村工事	河川	箇所	
	半壊	棟				道路	箇所	
		世帯		橋梁		箇所		
		人		小計	箇所			
	一部破損	棟		港湾	箇所			
		世帯		漁港	箇所			
		人		下水道	箇所			
	床上浸水	棟		公園	箇所			
		世帯		崖くずれ	箇所			
		人		計	箇所			
	床下浸水	棟		⑥水産被害	漁船	沈没流出	隻	
		世帯				破損	隻	
		人				計	隻	
③非住家被害	全壊	公共建物	棟		漁港施設	箇所		
		その他	棟		共同利用施設	箇所		
	半壊	公共建物	棟		その他施設	箇所		
		その他	棟		漁具(網)	件		
				水産製品	件			

計	公共建物		棟			その他		件			
	その他		棟			計					
④農業被害	農地	田	流出・埋没等	ha		⑦林業被害	道有林	林地	箇所		
			浸冠水	ha				治山施設	箇所		
		畑	流出・埋没等	ha				林道	箇所		
			浸冠水	ha				林産物	箇所		
	農作物	田	ha		その他			箇所			
		畑	ha		小計		箇所				
	農業用施設			箇所			一般民有林	林地	箇所		
	共同利用施設			箇所				治山施設	箇所		
	営農施設			箇所				林道	箇所		
	畜産被害			箇所				林産物	箇所		
	その他			箇所		その他		箇所			
	計					小計	箇所				
						計	箇所				

項目			件数等	被害金額 (千円)	項目			件数等	被害金額 (千円)	
⑧衛生被害	水道		箇所		⑪社会教育施設被害			箇所		
	病院	公立	箇所			⑫社会福祉施設等被害	公立	箇所		
		個人	箇所				法人	箇所		
	清掃施設	一般廃棄物処理	箇所		計		箇所			
		し尿処理	箇所		⑬その他	鉄道不通		箇所		
	火葬場		箇所			鉄道施設	箇所			
	計		箇所			被害船舶	隻			
⑨商工被害	商業		件			空港	箇所			
	工業		件			水道	戸		—	
	その他		件			電話	回線		—	
	計		件			電気	戸		—	
⑩公立文教施設	小学校		箇所			ガス	戸		—	
	中学校		箇所			ブロック塀等	箇所			
	高校		箇所			都市施設	箇所			

	その他文教 施設	箇所				計		—	
	計	箇所			被害総額				
公共施設被害市町村 数		団体			火災 発生	建物	件		
罹災世帯数		世帯				危険物	件		
罹災災者数		人				その他	件		
消防職員出動延人 数		人			消防団員出動延人 数		人		
災害対 策本部 の設置 状況	道（支庁）								
	市町村名	名称				設置日時	廃止日時		
災害救 助法適 用市町 村名									
<p>補足資料（※別葉で報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害発生場所 ○災害発生年月日 ○災害の種類概況 ○人的被害（個人別の氏名、性別、年齢、住所、職業、被災場所、原因）→個人情報につき取り扱い注意 ○応急対策の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所の勧告・指示の状況 ・避難所の設置状況 ・他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・消防、水防、救急・救助等消防機関の活動状況 ・自衛隊の派遣要請、出動状況 ・災害ボランティアの活動状況 ほか 									

○ 別記第5号様式 被害状況(中間・最終)報告集計表(第5章第1節第1関係)

被害状況(中間・最終)報告集計表

災害・事故名						令和 年 月 日 時現在				
総合振興局又は振興局										
項目		件数等	被害金額(千円)	項目		件数等	被害金額(千円)			
① 人的被害	死者	人	※ 個人別の氏名、 年齢、原因は、 補足資料で報告	⑤ 土木被害	道工事	河川箇所				
	行方不明	人				海岸箇所				
	重傷	人				砂防設備箇所				
	軽傷	人				地すべり箇所				
計	人		急傾斜地箇所							
② 住家被害	全壊	棟			道路箇所					
		世帯			橋梁箇所					
		人			小計箇所					
	半壊	棟				木	市町村工事	河川箇所		
		世帯						道路箇所		
		人		橋梁箇所						
	一部破損	棟				小計箇所				
		世帯				港湾箇所				
		人				漁港箇所				
	床上浸水	棟					害		下水道箇所	
		世帯							公園箇所	
		人							崖くずれ箇所	
床下浸水	棟		計箇所							
	世帯		⑥ 水産被害				漁船沈没流出箇所	隻		
	人						破損箇所	隻		
棟	計箇所				隻					
世帯	漁港施設箇所									
人	共同利用施設箇所									
計	人			その他施設箇所						
③ 非住家被害	全壊		公共建物棟					漁具(網)件		
			その他棟					水産製品件		
	半壊		公共建物棟			その他件				
			その他棟			計箇所				
計	公共建物棟									
その他棟										
④ 農業被害	農地	田	流失・埋没等ha	⑦ 林業被害	道有林	林地箇所				
			浸冠水ha			治山施設箇所				
		畑	流失・埋没等ha			林地箇所				
			浸冠水ha			林産物箇所				
	農作物	田ha	その他箇所							
		畑ha	小計箇所							
	被害	農業用施設箇所			一般民有林	林地箇所				
		共同利用施設箇所				治山施設箇所				
		営農施設箇所				林地箇所				
		畜産被害箇所				林産物箇所				
その他箇所			その他箇所							
計			小計箇所							

項 目			件数等	被害金額 (千円)	項 目			件数等	被害金額 (千円)
⑧ 衛 生 被 害	水 道		箇所		⑪社会教育施設被害		箇所		
	病 院	公 立	箇所		⑫社会福 祉施設等	公 立	箇所		
		個 人	箇所			法 人	箇所		
	清 掃 施 設	一般廃棄物処理	箇所		被 害 計		箇所		
		し尿処理	箇所		⑬ そ の 他	鉄 道 不 通	箇所		—
	火 葬 場		箇所			鉄 道 施 設	箇所		
計		箇所		被害船舶 (漁船除く)		隻			
⑨ 商 工 被 害	商 業	件		空 港		箇所			—
	工 業	件		水 道		戸			—
	そ の 他	件		電 話		回線			—
	計	件		電 気	戸			—	
⑩公立 文 教 施 設 被 害	小 学 校	箇所		ガ ス	戸			—	
	中 学 校	箇所		ブ ロ ッ ク 堀 等	箇所			—	
	高 校	箇所		都 市 建 設	箇所				
	その他文教施設	箇所		計			—		
計			箇所		被 害 総 額				
公共施設被害市町村数			団体		火 災 発 生	建 物	件		
り 災 世 帯 数			世帯			危 険 物	件		
り 災 者 数			人			そ の 他	件		
消防職員出動延人数			人		消防団員出動延人数		人		
災害対 策本部 の設置 状 況	道 (振興局)								
	市町村名	名 称			設置日時		廃止日時		
補足資料 (※別様で報告) ○災害発生場所 ○災害発生年月日 ○災害の種類概要 ○人的被害 (個人別の氏名、性別、年齢、住所、職業、被災場所、原因) →個人情報につき取扱い注意 ○応急対策の状況 ・避難の勧告・指示の状況 ・避難所の設置状況 ・他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・消防、水防、救急・救助等消防機関の活動状況 ・自衛隊の派遣要請、出動状況 ・災害ボランティアの活動状況 ほか									

○ 別記第6号様式 災害情報速報（第5章第3節第1関係）

災 害 情 報 速 報（第 号）

北 広 島 市

報告日時 月 日 時現在

気象状況		降 雨 量	総 雨 量	mm	
主要河川 状 況	河 川 名	地 区 名	概 要（水位等）		
道路橋梁 状 況	路 線 名 等	地 区 名	概 要（不通箇所等）		
浸水状況	地 区 名	概 要	地 区 名	概 要	
避難状況	区 分	地 区 名	避 難 場 所	避 難 人 員	時 間
	避 難 指 示 （ 緊 急 ）				
	避 難 勧 告				
	自 主 避 難 （避難準備・高齢者 等避難開始）				

住 家 被 害	地 区 名		全壊(焼)	半壊(焼)	床下浸水	床上浸水
			世帯	世帯	世帯	世帯
			世帯	世帯	世帯	世帯
			世帯	世帯	世帯	世帯
			世帯	世帯	世帯	世帯
			世帯	世帯	世帯	世帯
土 木 被 害	被 害 箇 所		時 間 概 要			
農 業 被 害	地 区 名	面 積	種 別	地 区 名	面 積	種 別
			畑・田			畑・田
			畑・田			畑・田
			畑・田			畑・田
			畑・田			畑・田
公 共 施 設 被 害	施 設 名 概 要		施 設 名 概 要			
そ の 他						

○ 別記第7号様式 職員参集状況報告書（第3章第1節第3関係）

職員参集状況報告書

			受付番号	
参集場所			氏名	
参集時間	自宅出発時間	時 分	所属	部 課
	到着時間	時 分	部・班名	対策部 班
	所要時間	時間 分	参集方法	歩・転・バ・車・交

本人・家族等の安否の状況	
参集路上での被害の状況	
参集途上における留意事項	

- 注 1 参集後に記入し、班長又は所属長に提出すること。
 2 班長又は所属長は、収集後に総務対策部（職員班）に提出すること。
 3 受付番号は、総務対策部（職員班）で記入すること。
 4 「職員・家族等の安否の状況」欄は、負傷等の状況を記入するとともに、家族の場合は、続柄を記入すること。
 5 「参集途上での被害の状況」欄は、人的、建物、橋梁、ライフライン等の被害の状況を簡潔に記入すること。
 6 「参集途上における留意事項」欄は、参集途上において、危険箇所等防災対策面で気がついた事項等を記入すること。
 7 「参集方法」欄は、徒歩の場合は歩、自転車の場合は転、児童二輪の場合はバ、自動車の場合は車、交通機関利用の場合は交に○を付けること。

○ 別記第8号様式 職員参集状況集計表（第3章第1節第3関係）

職員参集状況集計表

区分	総人数	時 分現在	時 分現在	時 分現在	備 考
本部事務局	人	人 %	人 %	人 %	
総 務 部	人	人 %	人 %	人 %	
企画財政部	人	人 %	人 %	人 %	
市民環境部	人	人 %	人 %	人 %	
保健福祉部	人	人 %	人 %	人 %	
子育て支援部	人	人 %	人 %	人 %	
教 育 部	人	人 %	人 %	人 %	
建 設 部	人	人 %	人 %	人 %	
経 済 部	人	人 %	人 %	人 %	
水 道 部	人	人 %	人 %	人 %	
消 防 本 部	人	人 %	人 %	人 %	
議会事務局	人	人 %	人 %	人 %	
監 査 委 員 事 務 局	人	人 %	人 %	人 %	
会 計 室	人	人 %	人 %	人 %	
	人	人 %	人 %	人 %	
	人	人 %	人 %	人 %	
合 計	人	人 %	人 %	人 %	

○ 別記第9号様式 職員参集状況受付簿（第3章第1節第3関係）

職員参集状況受付簿

部長 様

部 班長

番号	所属・職氏名	参集時刻	参集方法	備考（職員の健康状態等）
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	
		:	歩・転・ハ [○] ・車・交	

注1 「参集方法」欄は、徒歩の場合は歩、自転車の場合は転、自動二輪の場合はハ、自動車の場合は車、交通機関利用の場合は交に○印をつけること。
 2 「備考」欄は、参集した職員が負傷等により、作業を行うに当たり支障のある場合に限り記入すること。

○ 別記第 10 号様式 職員等安否確認調査票（第 3 章第 1 節第 3 関係）

職員等安否確認調査票

本部事務局長 様

部長

所 属 ・ 職 氏 名	連 絡 方 法	連 絡 時 間	連 絡 可 否	本 人 ・ 家 族 等 の 安 否 状 況	備 考 (参集可能時間等)
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		
	電 話 その他 ()	:	可・否		

○ 別記第 11 号様式 公用令書等（別表第 1 号様式～第 6 号様式）（第 5 章第 5 節第 2 関係）

別表 第 1 号様式

従 事 第 号	公 用 令 書			
	住 所 氏 名			
	災害対策基本法第 65 条の規定に基づき、次のとおり 従事 協力 を命ずる。			
	年 月 日			
	処分権者			印
従事すべき業務				
従事すべき場所				
従事すべき期間				
出頭すべき日時				
出頭すべき場所				
備 考				

（備考）用紙は、日本産業規格 A4 とする。

別表 第 2 号様式

保 管 第 号	公 用 令 書			
	住 所 氏 名			
	災害対策基本法第 78 条第 1 項の規定に基づき、次のとおり物資の保管を命ずる。			
	年 月 日			
	処分権者			印
保管すべき物資の種類	数量	保管すべき場所	保管すべき期間	備 考

（備考）用紙は、日本産業規格 A4 とする。

別表 第 3 号様式

管 理 第 号

公 用 令 書

住所
氏名

災害対策基本法第 78 条第 1 項の規定に基づき、次のとおり 管理 収用 を使用する。

年 月 日

処分権者

印

名 称	数量	所在場所	範 囲	期 間	引渡月日	引渡場所	備考

(備考) 用紙は、日本産業規格 A4 とする。

別表 第 4 号様式

変 更 第 号

公 用 変 更 令 書

住所
氏名

災害対策基本法第 78 条第 1 項の規定に基づく公用令書 (年 月 日第 号) にかかる処分を次のとおり変更したので、同法施行令第 34 条第 1 項の規定により、これを交付する。

年 月 日

処分権者

印

変更した処分の内容

(備考) 用紙は、日本産業規格 A4 とする。

別表 第5号様式

取 消 第 号	公 用 取 消 令 書	
	住所 氏名	
災害対策基本法第78条第1項の規定に基づく公用令書（ 年 月 日第号）にか かる処分を取り消したので、同法施行令第34条第1項の規定により、これを交付する。		
年 月 日		
	処分権者	印

(備考) 用紙は、日本産業規格A4とする。

別表 第6号様式

No.	防 災 立 入 検 査 票	
所 属 職 名 氏 名	年 月 日生	
上記の者は災害対策基本法第71条の規定に基づく権限を有するものであることを証明する。		
平成 年 月 日交付		
	北広島市長	印
	交付責任者	印

※規格 縦6センチ 横9センチとする。

(裏)

注 意	
1. 本票は他人に貸与し、若しくは譲渡し又は勝手に訂正してはならない。	
2. 本票は 年 月 日まで有効とする。	
3. 本票は有効期間が経過したとき、または不明になったときは速やかに返還しなければならない。	
4. 本票を亡失し、若しくは損傷したときは速やかに文書をもって届出なければならない。	

○ 別記第 12 号様式 避難者世帯名簿（第 5 章第 4 節第 7 関係）

避難者世帯名簿

[避難所名]

No. _____

現住所				被災場所			
世帯主氏名				親族その他への連絡先 (氏・住所・電話番号)			
電話番号							
入 所 世 帯 の 状 況 備 考 欄	ふりがな氏名	生年月日	続柄	性別	職業 (勤務先)	入所日時	退所日時
		M. T. S. H. R 年月日	世帯主	男・女		月 日 時	月 日 時
		M. T. S. H. R 年月日		男・女		月 日 時	月 日 時
		M. T. S. H. R 年月日		男・女		月 日 時	月 日 時
		M. T. S. H. R 年月日		男・女		月 日 時	月 日 時
		M. T. S. H. R 年月日		男・女		月 日 時	月 日 時
		M. T. S. H. R 年月日		男・女		月 日 時	月 日 時
		M. T. S. H. R 年月日		男・女		月 日 時	月 日 時

注 1 一世帯ごとに記入すること。

注 2 「被災場所」欄には、現住所付近以外の場所で被災した場合に記入すること。

注 3 児童・生徒等については、「職業」欄に学校名・学年を記入すること。

注 4 「備考」欄には、次の事項について記入すること。

- (1) 世帯内に病気療養中の者がいるときは、その者の病名及び症状等
- (2) 退所する場合、その移動先が現住所以外のときは、その移動先の住所・氏名・電話番号
- (3) その他特記事項

○ 別記第 14 号様式 避難所設置及び収容状況（第 5 章第 4 節第 7 関係）

避難所設置及び収容状況

北 広 島 市

避難所の名称	種別	開設期間	実人員	延人員	物品使用状況		実支出額	備考
					品名	数量		
		月 日 ～ 月 日						
		月 日 ～ 月 日						
		月 日 ～ 月 日						
		月 日 ～ 月 日						
		月 日 ～ 月 日						
		月 日 ～ 月 日						
		月 日 ～ 月 日						
		月 日 ～ 月 日						
		月 日 ～ 月 日						
計	既存建物							
	野外仮設							
	天 幕							

- 注 1 本様式は、別記第 12 号様式の集計用として作成すること。
 2 「種別」欄は、既存建物、野外仮設の別に記入すること。
 3 「物品使用状況」は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
 4 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。
 5 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 15 号様式 救助種目別物資受払簿（第 5 章第 4 節第 7 関係他）

救 助 種 目 別 物 資 受 払 簿

救助種目別	
品 名	

北 広 島 市

月 日	摘 要	受	払	残	備 考
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
計					

- 注 1 「救助種目別」欄には、①避難所用②炊き出しその他食品給与用③被災者救出用機械器具燃燃料用④被服寝具等⑤医療品衛生材料⑥燃料及び消耗品など用途別種目名を記入し、それぞれ別葉とすること。
- 2 品名ごとに、別葉とすること。
- 3 「摘要」欄には、購入先、受入先又は払出先を記入すること。
- 4 「備考」欄には、購入単価及び購入金額を記入すること。
- 5 「備考」欄には、払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること。
- 6 北海道からの受入分及び市調達分別に受、払、残のそれぞれの数及び金額を記入すること。
- 7 救護班による場合は、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。
- 8 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること

○ 別記第 16 号様式 被災者救出状況記録簿（第 5 章第 9 節第 2 関係）

被災者救出状況記録簿

北 広 島 市

年月日	救出 人員	救出用機械器具							実支出額	備考	
		名 称	借 上 費			修 繕 費					燃料費
			数量	所有者 (管理 者) 名	金 額	修繕 月日	修繕費	修繕の 概要			
	人			円		円		円	円		
計											

- 注 1 他市町村に及んだ場合には、「備考」欄にその市町村名を記入すること。
 2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。
 3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。
 4 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 17 号様式 輸送記録簿（第 5 章第 14 節第 3 関係）

輸 送 記 録 簿

北 広 島 市

輸送月日	目的	輸送区間 (距離)	借 上 等 修 繕							燃料費	実支出額	備考	
			使用車両		金額	故障車両等		修繕月日	修繕費				故障の概要
			種類	台数		名称 番号	所有者 氏 名						
					円				円	円			
計													

- 注 1 「目的」欄は主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 2 市の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
 3 借上車両等による場合は、有償、無償を問わず記入すること。
 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。
 6 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 18 号様式 炊き出し給与状況（第 5 章第 15 節第 2 関係）

炊 き 出 し 給 与 状 況

北 広 島 市

炊き出し場所の 名 称	月 日			月 日			月 日			月 日			合 計	実支出額	備 考
	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜			
計															

注 1 「備考」欄は、給食内容を記入すること。
 2 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 19 号様式 飲料水の供給簿（第 5 章第 16 節第 2 関係）

飲 料 水 の 供 給 簿

北 広 島 市

供 給 月 日	対 象 人 員	給水用機械器具								実支出額	備 考
		名 称	借 上		修 繕			燃料費			
			数 量	所 有 者	金 額	修繕 月日	修繕費		修繕の 概 要		
	人			円		円		円	円		
計											

注 1 給水用機械器具は、借上費の有償、無償を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。

○ 別記第 20 号様式 世帯構成員別被害状況 (第 5 章第 17 節第 4 関係)

○ 別記第 20 号様式 世帯構成員別被害状況

(第 5 章第 12 節第 4 関係)

世帯構成員別被害状況

世帯 構成員別	北 広 島 市													
	1 人 世 帯	2 人 世 帯	3 人 世 帯	4 人 世 帯	5 人 世 帯	6 人 世 帯	7 人 世 帯	8 人 世 帯	9 人 世 帯	10 人 世 帯	計	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校
被 害 別														
全 壊 (焼)														
流 出														
半 壊 (焼)														
床 上 浸 水														
合 計														

年 月 日 時現在

○ 別記第 21 号様式 物資購入（配分）計画表（第 5 章第 17 節第 4 関係）

○ 別記第 21 号様式 物資購入（配分）計画表

（第 5 章第 12 節第 4 関係）

世帯構成員別被害状況

年 月 日 時現在

北 広 島 市

世帯 区分	1人世帯			2人世帯			3人世帯			4人世帯			5人世帯			人世帯			計			備 考	
	数量	世帯数	金額	数量	世帯数	金額	数量	世帯数	金額	数量	世帯数	金額	数量	世帯数	金額	数量	世帯数	金額	数量	世帯数	金額		
品名																							
単価																							

注 1 本表は、全壊（焼）、流失世帯分と半壊（焼）及び床上浸水世帯分に分けて作成すること。「区分」欄の該当する方に○をする。
 2 「(基準額)」欄は、細則別表第 1、2 の額を記入すること。
 3 「品名」欄は、寝具、被服、その他生活必需品名を記入すること。
 4 各品名ごとの「備考」欄に、北海道及び市調達分を明らかにしておくこと。

○ 別記第 22 号様式 物資の給与状況（第 5 章第 17 節第 4 関係）

物 資 の 給 与 状 況

北 広 島 市

住家被害 程度区分	世 帯 主 氏 名	基礎とな った世帯 構成人員	給与 月日	物資給与の品名						実支出額	備考
				布団	毛布						
		人								円	
計	全壊	世帯									
	半壊	世帯									

災害救助物資として上記のとおり供与したことに相違ない。

年 月 日

給与責任者 氏名

印

- 注 1 住家の被害程度に、全壊（焼）流失又は半壊（焼）床上浸水の別を記入すること。
- 2 「給与月日」欄は、その世帯に対して最後に給与された物資の受領月日を記入すること。
- 3 「物資給与の品名」欄は、数量を記入すること。
- 4 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 23 号様式 物資給与及び受領簿（第 5 章第 17 節第 4 関係）

物 資 給 与 及 び 受 領 簿

住宅被害 程度区分	1 全壊（焼） 2 半壊（焼）	3 流失 4 床上浸水	給与の基礎となった 世帯構成員数	人
--------------	--------------------	----------------	---------------------	---

災害救助用物資として、下記内訳のとおり受領しました。

年 月 日

世帯主 住所 _____

氏 名 _____

連絡先 _____

給 与 年 月 日	品	名数	量備	考
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				

注 被災者が記入する受領年月日は、その世帯に対し最後に給与された物資の受領年月日とする。

○ 別記第 24 号様式 救護班活動状況（第 5 章第 10 節第 6 関係）

○ 別記第 24 号様式 救護班活動状況

（第 5 章第 15 節第 6 関係）

救 護 班 活 動 状 況

救護班

班長：医師 氏名 _____ 印

月	日	市町村名	患者数	措置の概要	死体検案数	修繕費	備考
			人		人	円	
計							

注 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

○ 別記第 25 号様式 病院診療所医療実施状況 (第 5 章第 10 節第 6 関係)

○ 別記第 25 号様式 病院診療所医療実施状況

(第 5 章第 15 節第 6 関係)

病院診療所医療実施状況

北 広 島 市

診 療 機 関 名	患 者 氏 名	診 療 期 間	病 名	診 療 区 分		診 療 報 酬 点 数	金 額	考 備
				入 院	通 院			
						点	円	
						点		
計	機 関	人						

注 「診療区分」欄は、該当欄に○印を記入すること。

○ 別記第 26 号様式 助産台帳 (第 5 章第 10 節第 6 関係)

○ 別記第 26 号様式 助産台帳

(第 5 章第 15 節第 6 関係)

病院診療所医療実施状況

北 広 島 市

分 べ ん 者 氏 名	分 べ ん 日 時	助 産 機 関 名	分 べ ん 期 間	金 額	備 考
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～	円	
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		
	月 時 日 分		月 月 日 日 ～		

○ 別記第 27 号様式 学用品の給与状況 (第 5 章第 26 節第 4 関係)

学用品の給与状況

北 広 島 市

学 校 名	学 年	児 童 生 徒 氏 名	親 権 者 氏 名	給 与 月 日	給 与 品 目							美 支 出 額	備 考	
					教 科		書	そ の 他		学 用 品				記 録
					国 語	算 数		鉛 筆	ノ ー ト	他	他			
計				月 日								円		
小学校												円		
中学校												円		

学用品を上記のとおり給与しました。

年 月 日

給与責任者 (学校長)

氏 名

印

注 1 「給与月日」欄は、その児童 (生徒) に対して最後に給与した給与月日を記入すること。

注 2 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること。

注 3 本様式は、救助法の適用時にはその事務用に用いること。

○ 別記第 28 号様式 応急仮設住宅台帳（第 5 章第 24 節第 5 関係）

応 急 仮 設 住 宅 台 帳

北 広 島 市

世帯主 氏名	家族数	所在地	構造区分	面積	敷地区分	着月	竣工日	竣工月	入居日	入居月	実支出額	備考
	人										円	
世帯												

- 注 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
- 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
- 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
- 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
- 5 「敷地区分」欄は、公・私有別とし、有・無償の別を明らかにすること。
- 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。
- 7 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 29 号様式 住宅応急修理記録簿（第 5 章第 24 節第 5 関係）

住 宅 応 急 修 理 記 録 簿

北 広 島 市

世 帯 主 氏 名	修 理 箇 所 概 要	完 了 月 日	実 支 出 額	摘 要
			円	
計	世帯			

注 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 30 号様式 遺体の搜索状況記録簿（第 5 章第 27 節第 2 関係）

遺 体 の 搜 索 状 況 記 録 簿

北 広 島 市

年 月 日	搜 索 人 人	搜 索 用 機 械 器 具								実 支 出 額 円	備 考
		名 称	借			上 修			燃 料 費		
			数 量	所 有 者	金 額 円	修 繕 月 日	修 繕 費 円	修 繕 の 概 要			
	人			円		円		円	円		

- 注 1 他市町村に及んだ場合には、「備考」欄にその市町村名を記入すること。
- 2 搜索用機械器具は、借上費の有償、無償を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。
- 3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。
- 4 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 31 号様式 遺体処理台帳 (第 5 章第 27 節第 2 関係)

北 広 島 市
遺 体 処 理 台 帳

処 理 日 年 月	死 者 氏 名	死 者 名	遺 氏 名	遺 族 死 亡 者 と の 関 係	洗 浄 品 名	等 数 量	処 理 の 金 額		死 体 の 一 時 保 存	検 案 料	支 出 額	考 備
							金 額	額				
							円	円	円	円	円	
計	人											

注 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 32 号様式 埋葬台帳 (第 5 章第 27 節第 2 関係)

○ 別記第 32 号様式 埋葬台帳

(第 5 章第 22 節第 2 関係)

埋 葬 台 帳

北 広 島 市

死 亡 日 年 月 日	埋 葬 日 年 月 日	死 亡 者		埋 葬 者 年 齡	埋 葬 氏 名	死 亡 者 と 死 の 関 係	行 っ た 棺 (付 属 品 を 含 む)	者	埋 葬 火 葬 料 又 は 骨 箱	費		備 考
		氏 名	年 齡							計	計	
							円		円	円	円	
計			人									

- 注 1 埋葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
 2 市長が、棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
 3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。
 4 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 33 号様式 障害物除去の状況（第 5 章第 25 節第 6 関係）

障 害 物 除 去 の 状 況

北 広 島 市

住家被害 程度区分	氏 名	除去に要した 期 間	実 支 出 額 円	除去に要すべき 状 態 の 概 要	備 考
計	半壊 半焼	世帯			
	床上 浸水	世帯			

注 1 住家等の障害物を除去した場合に作成するものとし、「住家被害程度区分」欄には、半壊（焼）、床上浸水の区分を記入すること。

2 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

○ 別記第 34 号様式 賃金作業員雇用台帳（第 5 章第 32 節第 3 関係）

賃 金 作 業 員 雇 用 台 帳

救助種別													
住 所	氏 名	日 額	月 分					基本賃金		割増賃金		給与額	
			日	日	日	日	日	日数	金 額	時間	金 額		
計	人	円											

注 1 本台帳は、救助の種別ごとに作成すること。

2 各日別就労状況は、1日就労したものは「1」と表示する。また、5時間の時間外就労は「1.5」と表示すること。

○ 別記第 35 号様式 北海道消防防災ヘリコプター緊急運航伝達票

(第 5 章第 8 節第 4 関係)

(第 報)

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航伝達票

要請日時：平成 年 月 日 時 分

次のとおりヘリコプターの出動を要請します。

		要 請 機 関							
		担 当 者 職 氏 名							
		連 絡 先		TEL			FAX		
災 害 の 状 況 ・ 派 遣 理 由	覚 知	年 月 時 分							
	災 害 発 生 日 時	年 月 時 分							
	災 害 発 生 場 所								
	災 害 名								
	災 害 発 生 状 況 ・ 措 置 状 況								
派 遣 を 必 要 と す る 区 域					希望する 活動内容				
気 象 の 状 況									
離 着 陸 場 況	離着陸場名								
	特記事項		(照明・Ⓜマーク、吹き渡し、離着陸場の状況 (障害物等) ほか)						
必 要 と す る 機 材				現 地 で の 資 機 材 確 保 状 況					
				特 記 事 項					
傷 病 者 の 搬 送 先					救急自動車等 の手配状況				
他 機 関 の 応 援 状 況	他に応援要請している機関名								
	現場付近で活動中の航空機の状況								
現 地 最 高 指 揮 者		(機関名) (職・氏名)							
無 線 連 絡 方 法		(周波数)						H z	
そ の 他 参 考 と な る 事 項									
搭 乗 者	所 属	職	氏 名	年 齡	所 属	職	氏 名	年 齡	備 考

○ 別記第 36 号様式 北海道消防防災ヘリコプター緊急運航に係る災害等状況報告書
 (第 5 章第 8 節第 4 関係)

第 年 号 月 日

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航に係る災害等状況報告書

総括責任者
 北海道総務部危機管理監 様

北広島市長

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航要領第 8 条の規定に基づき、次のとおり報告します。

災害発生日時	年 月 日 () 時 分							
災害発生場所								
派遣区域								
離着陸場								
使用した資機材								
傷病者の搬送先								
消防防災ヘリコプターに係る活動内容等	[地元の活動状況 (消防防災ヘリコプター運航に係る分)]							
	[消防防災ヘリコプターによる活動内容]							
災害発生状況 措置状況								
その他参考となる事項								
搭乗者	所属	職	氏名	年齢	所属	職	氏名	年齢

○ 別記第 37 号様式 救急患者の緊急搬送情報伝達票（第 5 章第 8 節第 4 関係）

要請年月日	年	月	日	時	分
1 要請市町村名	北広島市	電話	FAX		
担当者	課名	職名	氏名		
2 依頼病院名	電話				
所在地					
担当者（医師名）	医師		氏名		
3 受入れ医療機関名					
所在地					
電話		FAX			
受入れ医療機関の了承		有 ・ 無			
4 ふりがな 患者氏名	生年月日	年	月	日生	歳 男・女
	体 重	kg		職業	
ふりがな 住 所					
ふりがな 病 名	現状				
5 付添搭乗者（医師、看護師の所属：依頼病院			受入医療機関）		
氏 名	医師		年齢	歳	体重 kg
	看護師				
	付添人	続柄			
6 運航上の必要事項					
(1) 患者に装備されている医療機器の状況					
①点滴（規格 ×、重量 g）②保育器（規格 ^H × ^W × ^L 、重量 g）					
③酸素吸入器（規格 ×、重量 g）					
④その他（名称、規格 ×、重量 g）					
(2) 積載される機器の種類、重量及び規格					
①依頼病院		kg	kg	kg	
②受入れ医療機関		kg	kg	kg	
現地離着陸場					メモ

○ 別記第 38 号様式 自衛隊災害派遣要請の依頼について（第 5 章第 6 節第 1 関係）

第 号
年 月 日

北 海 道 知 事 様

北 広 島 市 長 印

自衛隊の災害派遣要請について

このことについて、次のとおり緊急措置が必要なので、自衛隊の災害派遣の要請を依頼します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を要請する事由
- 2 派遣を必要とする期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
- 4 派遣部隊が展開できる場所
- 5 派遣部隊との連絡方法、その他参考となる事項
(作業用資材、宿舎の準備状況、現地の連絡責任者等)

○ 別記第 39 号様式 自衛隊災害派遣撤収要請の依頼について
(第 5 章第 6 節第 1 関係)

第 号
年 月 日

北 海 道 知 事 様

北 広 島 市 長 印

自衛隊の災害派遣部隊の撤収要請について

年 月 日付けをもって要請を要求した自衛隊の災害派遣については、目的を達成したので、次の日時をもって撤収要請されるよう依頼します。

記

1 派遣を必要とした事由

2 撤収要請日時 年 月 日 時 分